

三菱電機 汎用 シーケンサ

CC-Link IEフィールドネットワークー
特小無線ブリッジユニット用
FBライブラリリファレンス

目次

第1章	ファンクションブロック(FB)一覧	2
第2章	ファンクションブロック(FB)詳細	4
2.1	M+NZ2WM_IEF_ControlExchange_R.....	4
2.2	M+NZ2WM_IEF_ChangeConfigMode_R.....	8
2.3	M+NZ2WM_IEF_RegistConfig_R.....	11
2.4	M+NZ2WM_IEF_DeleteConfig_R.....	14
2.5	M+NZ2WM_IEF_RequestLineTest_R.....	17
2.6	M+NZ2WM_IEF_SetParameter_R.....	20
2.7	M+NZ2WM_IEF_ReadParameter_R.....	24
2.8	M+NZ2WM_IEF_ReadIFData_R.....	28
	命令索引	32
	改訂履歴.....	36

1 ファンクションブロック(FB)一覧

CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニットを使用するための、ファンクションブロック(FB)一覧です。

名称 ^{*1}	内容
M+NZ2WM_IEF_ControlExchange_R	特小無線の自動交信を停止または再起動します。
M+NZ2WM_IEF_ChangeConfigMode_R	ブリッジユニットを簡易設定モードに移行します。
M+NZ2WM_IEF_RegistConfig_R	簡易設定または手動設定した子局ユニットをブリッジユニットに登録します。
M+NZ2WM_IEF_DeleteConfig_R	ブリッジユニットに登録された子局ユニットを削除します。
M+NZ2WM_IEF_RequestLineTest_R	特小無線の回線テストを実施します。
M+NZ2WM_IEF_SetParameter_R	ブリッジユニットのパラメータを設定します。
M+NZ2WM_IEF_ReadParameter_R	ブリッジユニットのパラメータ設定値を指定デバイスに読み出します。
M+NZ2WM_IEF_ReadIFData_R	無線I/Fのビット情報、ワード情報を指定デバイスに読み出します。

^{*1} FB名称の末尾には"_00A"などのFBのバージョン情報が表示されますが、本リファレンスでは記載しません。
ファンクションブロック(FB)は、三菱電機FAサイトからダウンロードできます。

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

ファンクションブロック(FB)の登録方法は、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。

2 ファンクションブロック(FB)詳細

2.1 M+NZ2WM_IEF_ControlExchange_R

名称

M+NZ2WM_IEF_ControlExchange_R

概要

項目	内容
機能概要	特小無線の自動交信を停止または再起動します。
シンボル	<div><div>M+NZ2WM_IEF_ControlExchange_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wCH_No</div><div>(5) — W: i_wControl</div><div>o_bENO :B (6)</div><div>o_bOK :B (7)</div><div>o_bErr :B (8)</div><div>o_uErrId :UW (9)</div></div></div>

使用ラベル

■入力ラベル

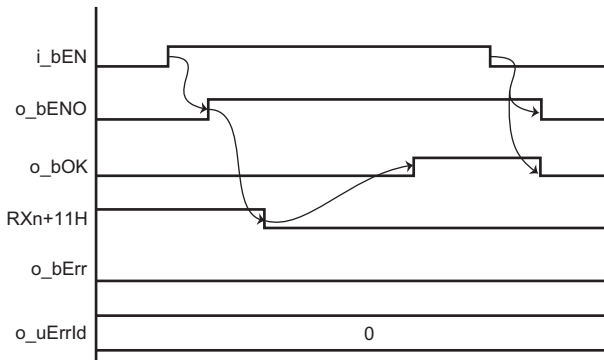
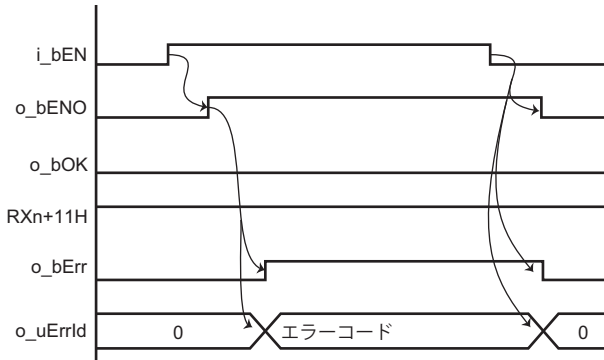
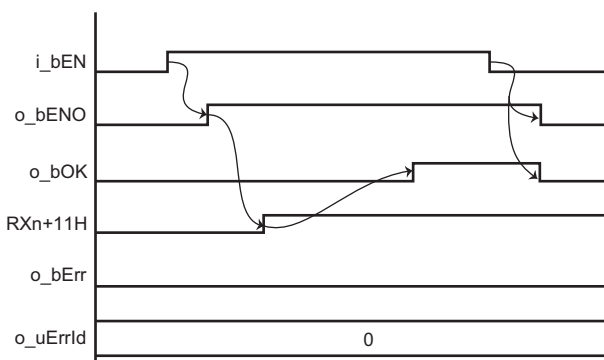
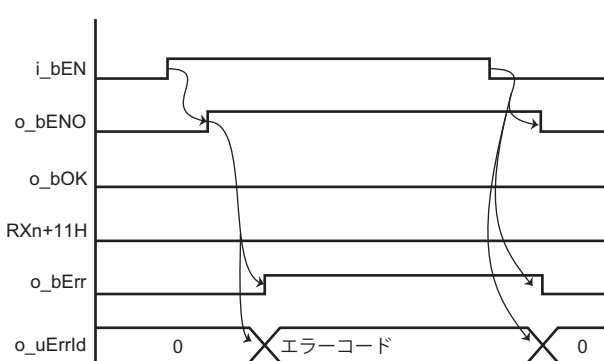
No.	名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
(1)	実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FBを起動します。 OFF: FBを起動しません。
(2)	ユニット装着XYアドレス	i_uStart_IO_No	ワード	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスター・ローカルユニットが装着されている先頭XYアドレスを指定します。
(3)	局番	i_wStation_No	ワード	1～120	対象局の局番を指定します。
(4)	自局使用チャンネル	i_wCH_No	ワード	1～32	他局アクセスのためのチャンネルを指定します。
(5)	停止/再起動指定	i_wControl	ワード	0, 1	停止/再起動を指定します。 0: 再起動 1: 停止

■出力ラベル

No.	名称	変数名	データ型	デフォルト値	説明
(6)	実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB動作実行中 OFF: FB動作停止中
(7)	正常終了	o_bOK	ビット	OFF	ON: FB正常完了 OFF: FB未完了または異常完了
(8)	エラー終了	o_bErr	ビット	OFF	ON: FBエラー完了 OFF: FB未完了またはFB正常完了
(9)	エラーコード	o_uErrId	ワード	0	発生したエラーコードを返します。

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2WM-GFBT
	対象ネットワークユニット	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニット
	対象CPU	MELSEC iQ-RシリーズCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	200ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	<ul style="list-style-type: none">・i_bEN(実行指令)のONで、i_Control(停止/再起動指定)に設定した値に従い、特小無線の自動交信を停止/再起動します。・i_bEN(実行命令)のONで1ショットのみ動作します。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	

項目	内容
入出力信号の動き	<p>■ 通信実行中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正常終了の場合  <ul style="list-style-type: none"> ・ 異常終了の場合  <p>■ 通信停止中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正常終了の場合  <ul style="list-style-type: none"> ・ 異常終了の場合 
制約事項, 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一ベース上にネットワークNo.の同じユニットが複数存在する場合は、CPUユニットはREMFR命令およびREMTO命令を最左端のユニットに対して要求します。必ず、マスタ局を最左端に装着してください。ローカル局を最左端とした場合は、FBがエラー終了することがあります。 ・ インデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しているため、割り込みプログラムを使用する場合はプログラム内でインデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しないでください。

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0061H	停止/再起動指定範囲外。 停止=1, 再起動=0以外の値が指定されている。	設定を見直した後, 再度FBを実行します。
0060H	ブリッジユニットの局番設定指定対象外。 局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後, 再度FBを実行します。
0000H~09A0H	ブリッジユニットまたは特小無線の異常。	【】CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニット ユーザーズマニュアル(応用編)
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークの異常。	

2.2 M+NZ2WM_IEF_ChangeConfigMode_R

名称

M+NZ2WM_IEF_ChangeConfigMode_R

概要

項目	内容
機能概要	ブリッジユニットを簡易設定モードに移行します。
シンボル	<div><div>M+NZ2WM_IEF_ChangeConfigMode_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wCH_No</div><div>o_bENO :B — (5)</div><div>o_bOK :B — (6)</div><div>o_bErr :B — (7)</div><div>o_uErrId :UW — (8)</div></div></div>

使用ラベル

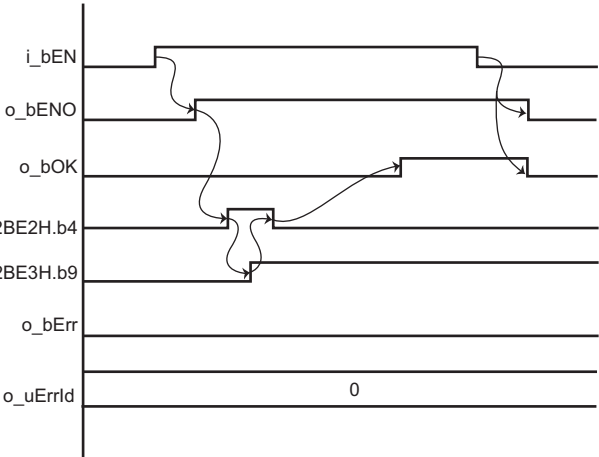
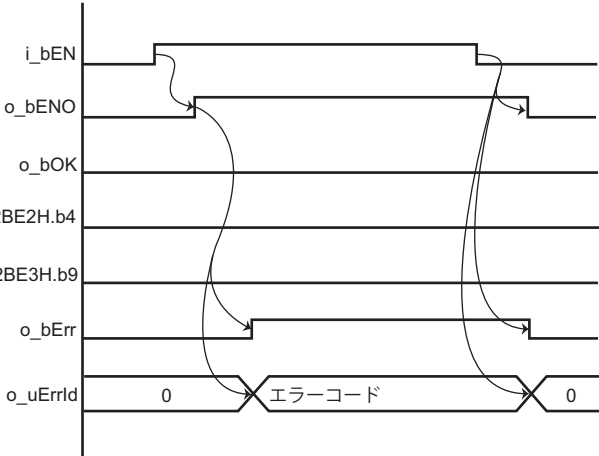
■入力ラベル

No.	名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
(1)	実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FBを起動します。 OFF: FBを起動しません。
(2)	ユニット装着XYアドレス	i_uStart_IO_No	ワード	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭XYアドレスを指定します。
(3)	局番	i_wStation_No	ワード	1～120	対象局の局番を指定します。
(4)	自局使用チャンネル	i_wCH_No	ワード	1～32	他局アクセスのためのチャンネルを指定します。


■出力ラベル

No.	名称	変数名	データ型	デフォルト値	説明
(5)	実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB動作実行中 OFF: FB動作停止中
(6)	正常終了	o_bOK	ビット	OFF	ON: FB正常完了 OFF: FB未完了または異常完了
(7)	エラー終了	o_bErr	ビット	OFF	ON: FBエラー完了 OFF: FB未完了またはFB正常完了
(8)	エラーコード	o_bErrId	ワード	0	発生したエラーコードを返します。

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2WM-GFBT
	対象ネットワークユニット	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニット
	対象CPU	MELSEC iQ-RシリーズCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	307ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> ・i_bEN(実行命令)のONで、ブリッジユニットを簡易設定モードに移行します。 ・i_bEN(実行命令)のONで1ショットのみ動作します。 	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
入出力信号の動き	<p>■正常終了の場合</p>  <p>■異常終了の場合</p> 	
制約事項、注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本FB実行後、登録するすべての無線子局の設定が完了したら、M+NZ2WM_IEF_ChangeConfigMode_Rで設定内容をブリッジユニットに保存してください。 ・同一ベース上にネットワークNo.の同じユニットが複数存在する場合は、CPUユニットはREMFR命令およびREMTO命令を最左端のユニットに対して要求します。必ず、マスタ局を最左端に装着してください。ローカル局を最左端とした場合は、FBがエラー終了することがあります。 ・インデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合はプログラム内でインデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しないでください。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0060H	ブリッジユニットの局番設定指定対象外。 局番が1～120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0000H～09A0H	ブリッジユニットまたは特小無線の異常。	 CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニット ユーザーズマニュアル(応用編)
D000H～DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークの異常。	

2.3 M+NZ2WM_IEF_RegistConfig_R

名称

M+NZ2WM_IEF_RegistConfig_R

概要

項目	内容
機能概要	簡易設定または手動設定した子局ユニットをブリッジユニットに登録します。
シンボル	<div><div>M+NZ2WM_IEF_RegistConfig_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wCH_No</div><div>o_bENO :B — (5)</div><div>o_bOK :B — (6)</div><div>o_bErr :B — (7)</div><div>o_uErrId :UW — (8)</div></div></div>

使用ラベル

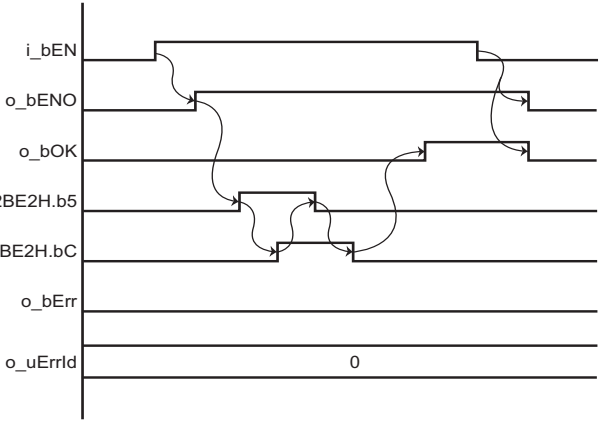
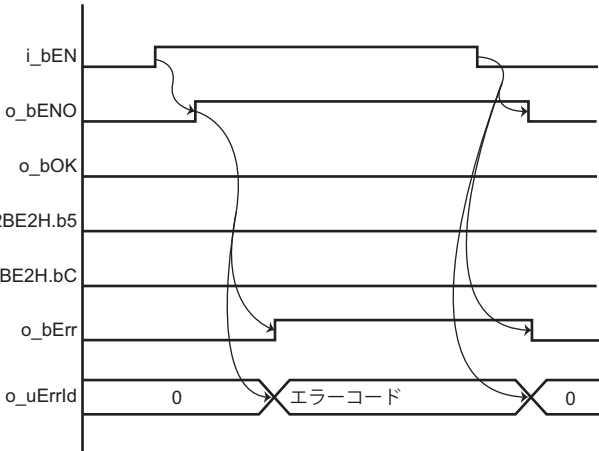
■入力ラベル

No.	名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
(1)	実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FBを起動します。 OFF: FBを起動しません。
(2)	ユニット装着XYアドレス	i_uStart_IO_No	ワード	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭XYアドレスを指定します。
(3)	局番	i_wStation_No	ワード	1~120	対象局の局番を指定します。
(4)	自局使用チャンネル	i_wCH_No	ワード	1~32	他局アクセスのためのチャンネルを指定します。

■出力ラベル

No.	名称	変数名	データ型	デフォルト値	説明
(5)	実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB動作実行中 OFF: FB動作停止中
(6)	正常終了	o_bOK	ビット	OFF	ON: FB正常完了 OFF: FB未完了または異常完了
(7)	エラー終了	o_bErr	ビット	OFF	ON: FBエラー完了 OFF: FB未完了またはFB正常完了
(8)	エラーコード	o_uErrId	ワード	0	発生したエラーコードを返します。

機能内容

項目	内容
対象機器	対象ユニット
	NZ2WM-GFBT
	対象ネットワークユニット
	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニット
対象CPU	MELSEC iQ-RシリーズCPU
	対象エンジニアリングツール
	GX Works3
使用言語	ラダー
基本ステップ数	269ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> ・i_bEN(実行指令)のONで、簡易設定または手動設定した子局ユニットをブリッジユニットに登録します。また、登録完了後にブリッジユニットをリセットします。 ・i_bEN(実行指令)のONで1ショットのみ動作します。
FBコンパイル方式	マクロ型
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<p>■正常終了の場合</p>  <p>■異常終了の場合</p> 
制約事項, 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本FB実行前に、M+NZ2WM_IEF_RegistConfig_Rで簡易設定モードに移行してください。 ・同一ベース上にネットワークNo.の同じユニットが複数存在する場合は、CPUユニットはREMFR命令およびREMTO命令を最左端のユニットに対して要求します。必ず、マスタ局を最左端に装着してください。ローカル局を最左端とした場合は、FBがエラー終了することがあります。 ・インデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合はプログラム内でインデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しないでください。

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0060H	ブリッジユニットの局番設定指定対象外。 局番が1～120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0000H～09A0H	ブリッジユニットまたは特小無線の異常。	【2】CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニット ユーザーズマニュアル(応用編)
D000H～DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークの異常。	

2.4 M+NZ2WM_IEF_DeleteConfig_R

名称

M+NZ2WM_IEF_DeleteConfig_R

概要

項目	内容
機能概要	ブリッジユニットに登録された子局ユニットを削除します。
シンボル	<div><div>M+NZ2WM_IEF_DeleteConfig_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wCH_No</div><div>(5) — W: i_wClearStation</div><div>o_bENO :B — (6)</div><div>o_bOK :B — (7)</div><div>o_bErr :B — (8)</div><div>o_uErrId :UW — (9)</div></div></div>

使用ラベル

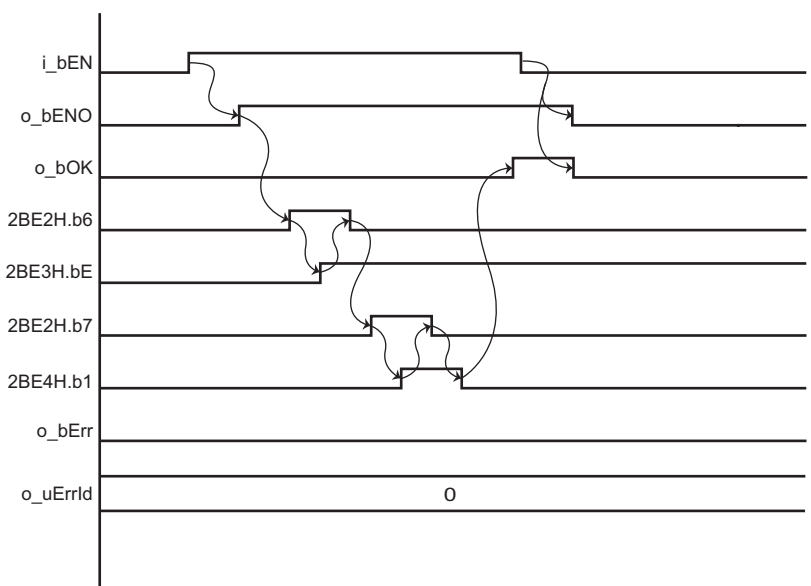
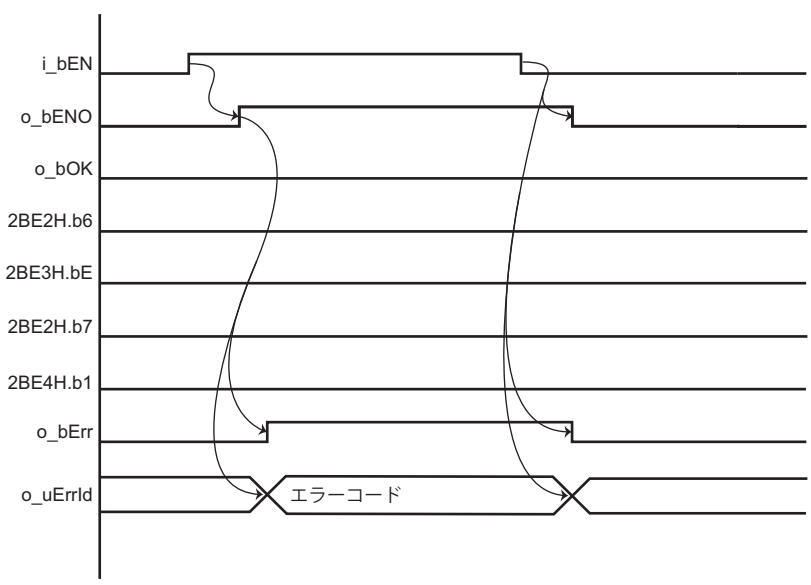
■入力ラベル

No.	名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
(1)	実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FBを起動します。 OFF: FBを起動しません。
(2)	ユニット装着XYアドレス	i_uStart_IO_No	ワード	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭XYアドレスを指定します。
(3)	局番	i_wStation_No	ワード	1～120	対象局の局番を指定します。
(4)	自局使用チャンネル	i_wCH_No	ワード	1～32	他局アクセスのためのチャンネルを指定します。
(5)	受信データ許容数	i_wClearStation	ワード	0～510	簡易設定情報を削除する局番を指定します。 ・ 0: 全局 ・ 1～510: 局番


■出力ラベル

No.	名称	変数名	データ型	デフォルト値	説明
(6)	実行状態	o_bENOI	ビット	OFF	ON: FB動作実行中 OFF: FB動作停止中
(7)	正常終了	o_bOK	ビット	OFF	ON: FB正常完了 OFF: FB未完了または異常完了
(8)	エラー終了	o_bErr	ビット	OFF	ON: FBエラー完了 OFF: FB未完了またはFB正常完了
(9)	エラーコード	o_uErrId	ワード	0	発生したエラーコードを返します。

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2WM-GFBT
	対象ネットワークユニット	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニット
	対象CPU	MELSEC iQ-RシリーズCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	584ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> ・i_bEN(実行命令)のONで、ブリッジユニットに登録された子局ユニットを削除します。 また、削除完了後にブリッジユニットをリセットします。 ・i_bEN(実行命令)のONで1ショットのみ動作します。 	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
入出力信号の動き	<p>■正常終了の場合</p>  <p>■異常終了の場合</p> 	
制約事項, 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・同一ベース上にネットワークNo.の同じユニットが複数存在する場合は、CPUユニットはREMFR命令およびREMTO命令を最左端のユニットに対して要求します。必ず、マスタ局を最左端に装着してください。ローカル局を最左端とした場合は、FBがエラー終了することがあります。 ・インデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しているため、割り込みプログラムを使用する場合はプログラム内でインデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しないでください。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0062H	クリア局番設定指定範囲外。 局番が0～510以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0060H	ブリッジユニットの局番設定指定対象外。 局番が1～120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0000H～09A0H	ブリッジユニットまたは特小無線の異常。	 CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニット ユーザーズマニュアル(応用編)
D000H～DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークの異常。	

2.5 M+NZ2WM_IEF_RequestLineTest_R

名称

M+NZ2WM_IEF_RequestLineTest_R

2

概要

項目	内容
機能概要	特小無線の回路テストを実施します。
シンボル	<div><div>M+NZ2WM_IEF_RequestLineTest_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wCH_No</div><div>(5) — W: i_Test_Station</div><div>o_bEN :B (6)</div><div>o_bOK :B (7)</div><div>o_bErr :B (8)</div><div>o_uErrId :UW (9)</div><div>o_uLineTestResult :UW (10)</div></div></div>

使用ラベル

■入カラベル

No.	名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
(1)	実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FBを起動します。 OFF: FBを起動しません。
(2)	ユニット装着XYアドレス	i_uStart_IO_No	ワード	CPUユニットの出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭XYアドレスを指定します。
(3)	局番	i_wStation_No	ワード	1～120	対象局の局番を指定します。
(4)	自局使用チャンネル	i_wCH_No	ワード	1～32	他局アクセスのためのチャンネルを指定します。
(5)	テスト局番	i_wTestStation	ワード	0～510	回線テストする局番を指定します。 ・0: 全局 ・1～510: テストする局番

■出カラベル

No.	名称	変数名	データ型	デフォルト値	説明
(6)	実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB動作実行中 OFF: FB動作停止中
(7)	正常終了	o_bOK	ビット	OFF	ON: FB正常完了 OFF: FB未完了または異常完了
(8)	エラー終了	o_bErr	ビット	OFF	ON: FBエラー完了 OFF: FB未完了またはFB正常完了
(9)	エラーコード	o_uErrId	ワード	0	発生したエラーコードを返します。
(10)	回線テスト局単位結果	o_uLineTestResult	ワード	0	回線テストの局単位結果を格納するデバイスを指定します。

機能内容

項目	内容																																																																																																					
対象機器	対象ユニット	NZ2WM-GFBT																																																																																																				
	対象ネットワークユニット	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニット																																																																																																				
	対象CPU	MELSEC iQ-RシリーズCPU																																																																																																				
	対象エンジニアリングツール	GX Works3																																																																																																				
使用言語	ラダー																																																																																																					
基本ステップ数	367ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。																																																																																																					
機能説明	<div><div><div>• i_bEN(実行命令)のONで、i_wTestStation(テスト局番)に設定した局番への回線テストを実施します。回線テストの結果はo_uLineTestResult(回線テスト局単位結果)に設定したデバイスを先頭に32点分のワードデータとして格納されます。指定したデバイスをnとすると、下記のとおりに格納されます。表中の数字は、そのビットに結果が格納される局番を示します。</div><table><tr><td></td><td>b15</td><td>b14</td><td>b13</td><td>b12</td><td></td><td>b3</td><td>b2</td><td>b1</td><td>b0</td></tr><tr><td>n+0</td><td>16</td><td>15</td><td>14</td><td>13</td><td>〜</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>n+1</td><td>32</td><td>31</td><td>30</td><td>29</td><td>〜</td><td>20</td><td>19</td><td>18</td><td>17</td></tr><tr><td>n+2</td><td>48</td><td>47</td><td>46</td><td>45</td><td>〜</td><td>36</td><td>35</td><td>34</td><td>33</td></tr><tr><td>n+3</td><td>64</td><td>63</td><td>62</td><td>61</td><td>〜</td><td>52</td><td>51</td><td>50</td><td>49</td></tr><tr><td></td><td>〜</td><td>〜</td><td>〜</td><td>〜</td><td>〜</td><td>〜</td><td>〜</td><td>〜</td><td>〜</td></tr><tr><td>n+28</td><td>464</td><td>463</td><td>462</td><td>461</td><td>〜</td><td>452</td><td>451</td><td>450</td><td>449</td></tr><tr><td>n+29</td><td>480</td><td>479</td><td>478</td><td>477</td><td>〜</td><td>468</td><td>467</td><td>466</td><td>465</td></tr><tr><td>n+30</td><td>496</td><td>495</td><td>494</td><td>493</td><td>〜</td><td>484</td><td>483</td><td>482</td><td>481</td></tr><tr><td>n+31</td><td>-</td><td>-</td><td>510</td><td>509</td><td>〜</td><td>500</td><td>499</td><td>498</td><td>497</td></tr></table></div><div>• i_bEN(実行命令)のONで1ショットのみ動作します。</div></div>			b15	b14	b13	b12		b3	b2	b1	b0	n+0	16	15	14	13	〜	4	3	2	1	n+1	32	31	30	29	〜	20	19	18	17	n+2	48	47	46	45	〜	36	35	34	33	n+3	64	63	62	61	〜	52	51	50	49		〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	n+28	464	463	462	461	〜	452	451	450	449	n+29	480	479	478	477	〜	468	467	466	465	n+30	496	495	494	493	〜	484	483	482	481	n+31	-	-	510	509	〜	500	499	498	497
	b15	b14	b13	b12		b3	b2	b1	b0																																																																																													
n+0	16	15	14	13	〜	4	3	2	1																																																																																													
n+1	32	31	30	29	〜	20	19	18	17																																																																																													
n+2	48	47	46	45	〜	36	35	34	33																																																																																													
n+3	64	63	62	61	〜	52	51	50	49																																																																																													
	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜	〜																																																																																													
n+28	464	463	462	461	〜	452	451	450	449																																																																																													
n+29	480	479	478	477	〜	468	467	466	465																																																																																													
n+30	496	495	494	493	〜	484	483	482	481																																																																																													
n+31	-	-	510	509	〜	500	499	498	497																																																																																													
FBコンパイル方式	マクロ型																																																																																																					
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)																																																																																																					
入出力信号の動き	<div><div>■正常終了の場合</div><div>■異常終了の場合</div></div>																																																																																																					
制約事項、注意事項	<div><div>• 同一ベース上にネットワークNo.の同じユニットが複数存在する場合は、CPUユニットはREMFR命令およびREMTO命令を最左端のユニットに対して要求します。必ず、マスタ局を最左端に装着してください。ローカル局を最左端とした場合は、FBがエラー終了することがあります。</div><div>• インテックスレジスタ(Z7〜Z9)を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合はプログラム内でインデックスレジスタ(Z7〜Z9)を使用しないでください。</div></div>																																																																																																					

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0063H	回線テストの局番指定範囲外。 0～510以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0060H	ブリッジユニットの局番設定指定対象外。 局番が1～120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0000H～09A0H	ブリッジユニットまたは特小無線の異常。	【1】CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニット ユーザーズマニュアル(応用編)
D000H～DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークの異常。	

2.6 M+NZ2WM_IEF_SetParameter_R

名称

M+NZ2WM_IEF_SetParameter_R

概要

項目	内容
機能概要	ブリッジユニットのパラメータを設定します。
シンボル	<div><div>M+NZ2WM_IEF_SetParameter_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wCH_No</div><div>(5) — W: i_wParam_Channel</div><div>(6) — W: i_wParam_SendOut</div><div>(7) — UW: i_uParam_TotelComTime</div><div>(8) — W: i_wParam_Topology</div><div>(9) — W: i_wParam_AutoComCycle</div><div>(10) — W: i_wParam_StatisticsCycle</div><div>(11) — W: i_wParam_HoldClear</div><div>o_bENO :B — (12)</div><div>o_bOK :B — (13)</div><div>o_bErr :B — (14)</div><div>o_uErrId :UW — (15)</div></div></div>

使用ラベル

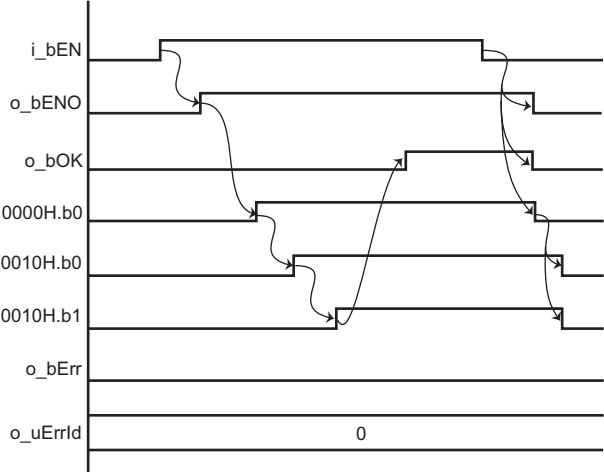
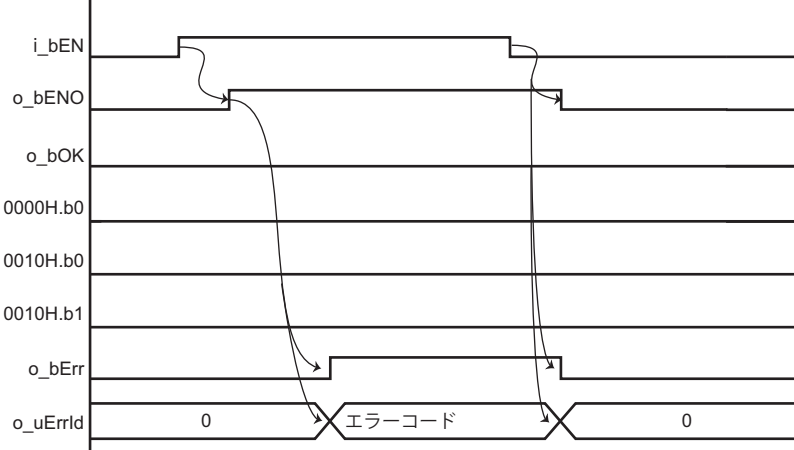
■入力ラベル

No.	名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
(1)	実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FBを起動します。 OFF: FBを起動しません。
(2)	ユニット装着XYアドレス	i_uStart_IO_No	ワード	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭XYアドレスを指定します。
(3)	局番	i_wStation_No	ワード	1～120	対象局の局番を指定します。
(4)	自局使用チャンネル	i_wCH_No	ワード	1～32	他局アクセスのためのチャンネルを指定します。
(5)	チャンネル	i_wParam_Channel	ワード	33～59	チャンネルを指定します。
(6)	送信出力	i_wParam_SendOut	ワード	0～2	送信出力を指定します。 • 0: 20mW • 1: 10mW • 2: 1mW
(7)	累積送信時間閾値	i_uParam_TotelComTime	ワード	0H～12CH	累積送信時間閾値を指定します。
(8)	ネットワーク形態	i_wParam_Topology	ワード	0～1	ネットワーク形態を指定します。 • 0: メッシュ (無線中継あり) • 1: スター (無線中継なし)
(9)	自動交信周期	i_wParam_AutoComCycle	ワード	0～12000	自動交信周期を指定します。
(10)	統計情報取得周期	i_wParam_StatisticsCycle	ワード	0, 10～12000	統計情報取得周期を指定します。
(11)	出力HOLD/CLEAR設定	i_wParam_HoldClear	ワード	0～1	解列したとき、またはCPUユニットがSTOP 状態になったときに直前の各出力状態を保持(HOLD)するか、クリア(CLEAR)するかを指定します。 • 0: CLEAR • 1: HOLD

■出力ラベル


No.	名称	変数名	データ型	デフォルト値	説明
(12)	実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB動作実行中 OFF: FB動作停止中
(13)	正常終了	o_bOK	ビット	OFF	ON: FB正常完了 OFF: FB未完了または異常完了
(14)	エラー終了	o_bErr	ビット	OFF	ON: FBエラー完了 OFF: FB未完了またはFB正常完了
(15)	エラーコード	o_uErrId	ワード	0	発生したエラーコードを返します。

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2WM-GF8T
	対象ネットワークユニット	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニット
	対象CPU	MELSEC iQ-RシリーズCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	522ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> ・i_bEN(実行命令)のONで、i_wParam_Channel(チャンネル)、i_wParam_SendOut(送信出力)、i_uParam_TotalComTime(累積送信時間閾値)、i_wParam_Topology(ネットワーク形態)、i_wParam_AutoComCycle(自動送信周期)、i_wParam_StatisticsCycle(統計情報取得周期)、およびi_wParam_HoldClear(出力HOLD/CLEAR設定)に設定したワードデータを、ブリッジユニットのチャンネル設定(2C01H)、送信出力設定(2C10H)、累積送信時間閾値(2C19H)、ネットワーク形態(2C28H)、および自動送信周期設定(2C29H)に設定します。(■CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニットユーザーズマニュアル(応用編)) また、ブリッジユニットのパラメータ設定完了後にブリッジユニットをリセットしてください。 ・i_bEN(実行命令)のONで1ショットのみ動作します。 	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
入出力信号の動き	<p>■正常終了の場合</p>  <p>■異常終了の場合</p> 	

項目	内容
制約事項, 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 複数のシーケンサまたはラダープログラムから同時に実行しないでください。また、GX Works3でブリッジユニットのパラメータ設定を行っているときには、同時に本FBを実行しないでください。 同時に実行した場合、下記の状態となる可能性があります。 意図した値がパラメータに設定されない。 FBがエラー終了する。 GX Works3からのパラメータ設定がエラーとなる 同一ベース上にネットワークNo.の同じユニットが複数存在する場合は、CPUユニットはREMFR命令およびREMTO命令を最左端のユニットに対して要求します。必ず、マスタ局を最左端に装着してください。ローカル局を最左端とした場合は、FBがエラー終了することがあります。 インデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合はプログラム内でインデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しないでください。

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0064H	チャンネル設定範囲外。 チャンネルが、33～59以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0065H	送信出力設定範囲外。 送信出力が、0～2以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0066H	累積送信時間閾値設定範囲外。 累積送信時間閾値が、0H～12CH以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0067H	ネットワーク形態設定範囲外。 ネットワーク形態が、0～1以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0068H	自動交信周期設定範囲外。 自動交信周期が、0～12000以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0069H	出力HOLD/CLEAR設定範囲外。 出力HOLD/CLEAR設定が0～1以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
006AH	統計情報取得周期設定範囲外。 統計情報取得周期が0もしくは10～12000以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0060H	ブリッジユニットの局番設定指定対象外。 局番が1～120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0000H～09A0H	ブリッジユニットまたは特小無線の異常。	 CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニット ユーザズマニュアル(応用編)
D000H～DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークの異常。	

2.7 M+NZ2WM_IEF_ReadParameter_R

名称

M+NZ2WM_IEF_ReadParameter_R

概要

項目	内容
機能概要	ブリッジユニットのパラメータ設定値を指定デバイスに読み出します。
シンボル	<div><div>M+NZ2WM_IEF_ReadParameter_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wCH_No</div><div>o_bENO :B (5)</div><div>o_bOK :B (6)</div><div>o_bErr :B (7)</div><div>o_uErrId :UW (8)</div><div>o_wParam_Channel :W (9)</div><div>o_wParam_SendOut :W (10)</div><div>o_uParam_TotalComTime :UW (11)</div><div>o_wParam_Topology :W (12)</div><div>o_wParam_AutoComCycle :W (13)</div><div>o_wParam_StatisticsCycle :W (14)</div><div>o_wParam_HoldClear :W (15)</div></div></div>

使用ラベル

■入力ラベル

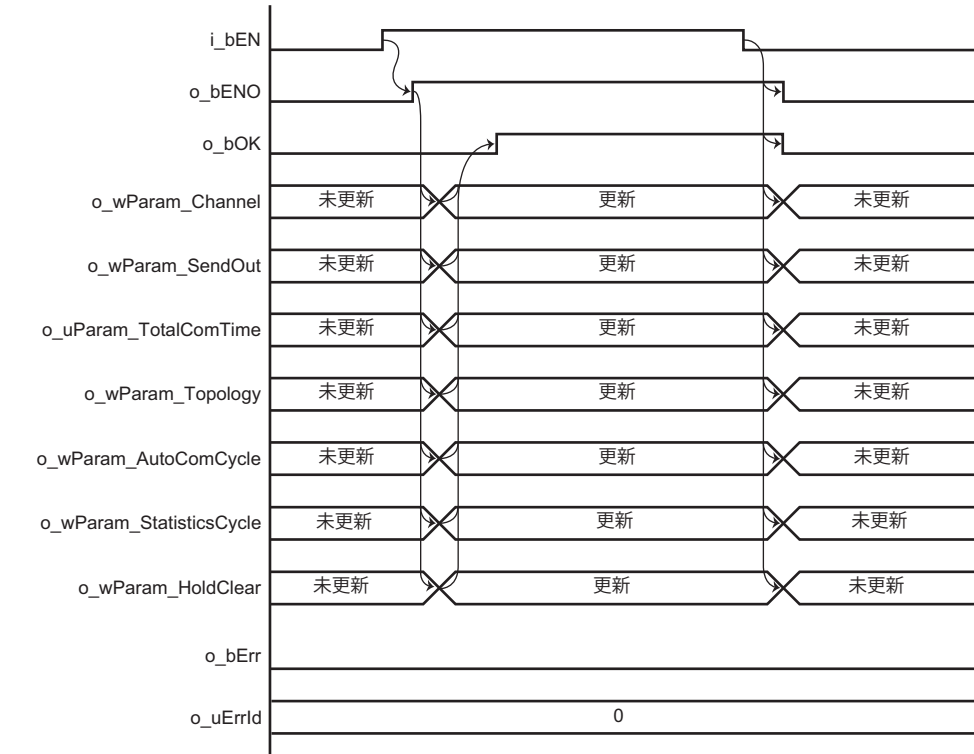
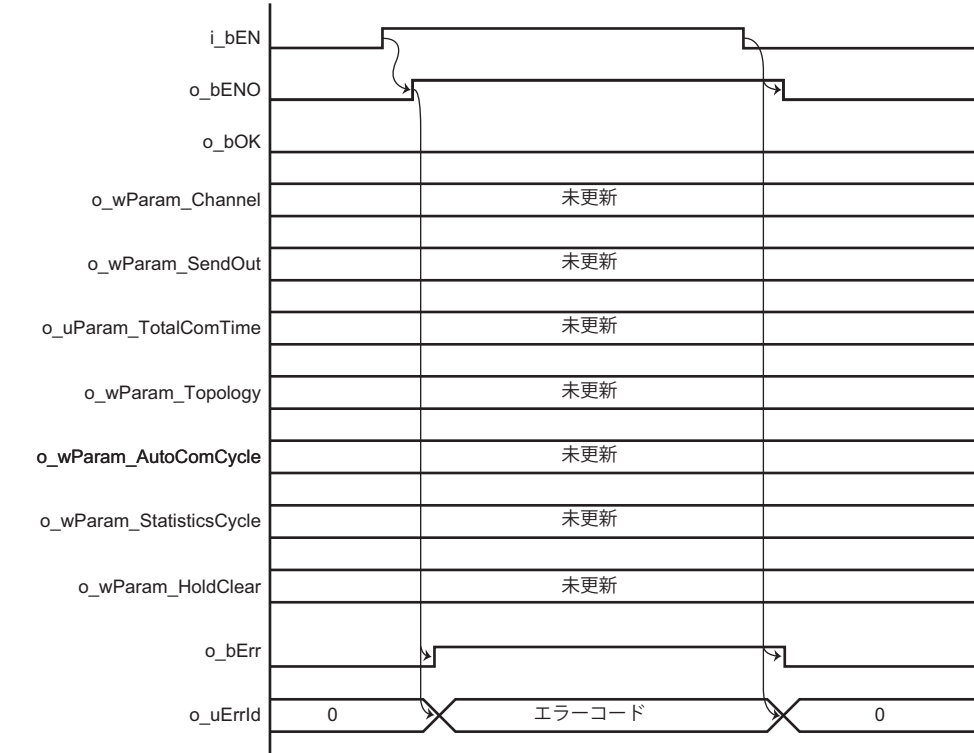
No.	名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
(1)	実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FBを起動します。 OFF: FBを起動しません。
(2)	ユニット装着XYアドレス	i_uStart_IO_No	ワード	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭XYアドレスを指定します。
(3)	局番	i_wStation_No	ワード	1～120	対象局の局番を指定します。
(4)	自局使用チャンネル	i_wCH_No	ワード	1～32	他局アクセスのためのチャンネルを指定します。

■出力ラベル

No.	名称	変数名	データ型	デフォルト値	説明
(5)	実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB動作実行中 OFF: FB動作停止中
(6)	正常終了	o_bOK	ビット	OFF	ON: FB正常完了 OFF: FB未完了または異常完了
(7)	エラー終了	o_bErr	ビット	OFF	ON: FBエラー完了 OFF: FB未完了またはFB正常完了
(8)	エラーコード	o_uErrId	ワード	0	発生したエラーコードを返します。
(9)	チャンネル	o_wParam_Channel	ワード	0	チャンネル設定値を格納するデバイスを指定します。
(10)	送信出力	o_wParam_SendOut	ワード	0	送信出力設定値を格納するデバイスを指定します。
(11)	累積送信時間閾値	o_uParam_TotalComTime	ワード	0H	累積送信時間閾値設定値を格納するデバイスを指定します。
(12)	ネットワーク形態	o_wParam_Topology	ワード	0	ネットワーク形態設定値を格納するデバイスを指定します。
(13)	自動交信周期	o_wParam_AutoComCycle	ワード	0	自動交信周期設定値を格納するデバイスを指定します。
(14)	統計情報取得周期	o_wParam_StatisticsCycle	ワード	0	統計情報取得周期設定値を格納するデバイスを指定します。
(15)	出力HOLD/CLEAR設定	o_wParam_HoldClear	ワード	0	出力HOLD/CLEAR設定値を格納するデバイスを指定します。

機能内容

項目	内容
対象機器	対象ユニット
	NZ2WM-GFBT
	対象ネットワークユニット
	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニット
	対象CPU
	MELSEC iQ-RシリーズCPU
	対象エンジニアリングツール
	GX Works3
使用言語	ラダー
基本ステップ数	350ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> • i_bEN(実行命令)のONで、ブリッジユニットのチャンネル設定(2C01H)、送信出力設定(2C10H)、累積送信時間閾値(2C19H)、ネットワーク形態(2C28H)、および自動交信周期設定(2C29H)を読み出し、o_wParam_Channel(チャンネル)、o_wParam_SendOut(送信出力)、o_uParam_TotalComTime(累積送信時間閾値)、o_wParam_Topology(ネットワーク形態)、o_wParam_AutoComCycle(自動交信周期)、o_wParam_StatisticsCycle(統計情報取得周期)、およびo_wParamHoldClear(出力HOLD/CLEAR設定)に設定したデバイスのワードデータとして格納する。(□□CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニットユーザズマニュアル(応用編)) • i_bEN(実行命令)のONで1ショットのみ動作します。
FBコンパイル方式	マクロ型
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)

項目	内容
入出力信号の動き	<p>■正常終了の場合</p>  <p>■異常終了の場合</p> 
制約事項, 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・同一ベース上にネットワークNo.の同じユニットが複数存在する場合は、CPUユニットはREMFR命令およびREMT0命令を最左端のユニットに対して要求します。必ず、マスタ局を最左端に装着してください。ローカル局を最左端とした場合は、FBがエラー終了することがあります。 ・インテックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しているため、割込みプログラムを使用する場合はプログラム内でインデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しないでください。

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0060H	ブリッジユニットの局番設定指定対象外。 局番が1～120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0000H～09A0H	ブリッジユニットまたは特小無線の異常。	【】CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニット ユーザーズマニュアル(応用編)
D000H～DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークの異常。	

2.8 M+NZ2WM_IEF_ReadIFData_R

名称

M+NZ2WM_IEF_ReadIFData_R

概要

項目	内容
機能概要	無線I/Fのビット情報、ワード情報を指定デバイスに読み出します。
シンボル	<div><div>M+NZ2WM_IEF_ReadIFData_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wCH_No</div><div>o_bENO :B — (5)</div><div>o_bOK :B — (6)</div><div>o_bErr :B — (7)</div><div>o_uErrId :UW — (8)</div><div>o_ulFBit :UW — (9)</div><div>o_ulFWord :UW — (10)</div></div></div>

使用ラベル

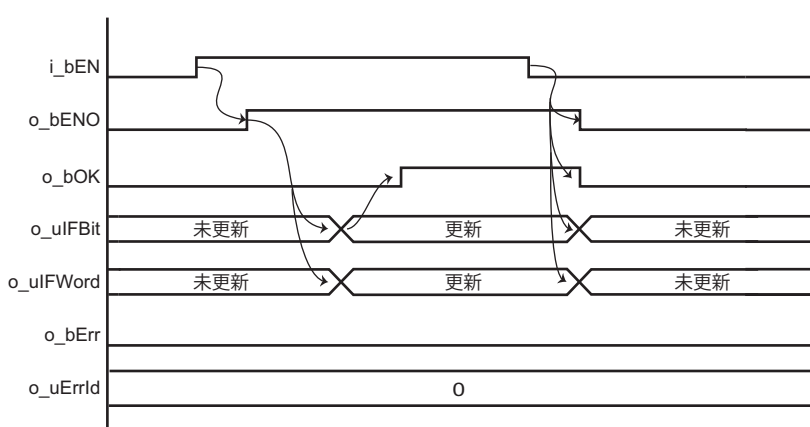
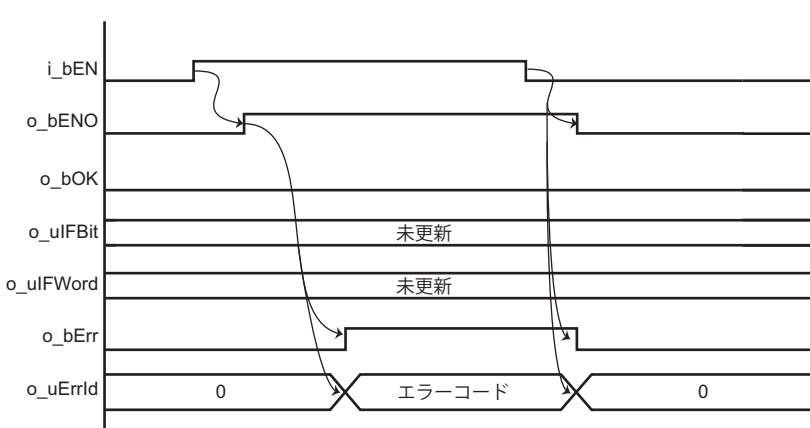
■入カラベル

No.	名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
(1)	実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FBを起動します。 OFF: FBを起動しません。
(2)	ユニット装着XYアドレス	i_uStart_IO_No	ワード	CPUユニットの出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭XYアドレスを指定します。
(3)	局番	i_wStation_No	ワード	1~120	対象局の局番を指定します。
(4)	自局使用チャンネル	i_wCH_No	ワード	1~32	他局アクセスのためのチャンネルを指定します。

■出カラベル

No.	名称	変数名	データ型	デフォルト値	説明
(5)	実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB動作実行中 OFF: FB動作停止中
(6)	正常終了	o_bOK	ビット	OFF	ON: FB正常完了 OFF: FB未完了または異常完了
(7)	エラー終了	o_bErr	ビット	OFF	ON: FBエラー完了 OFF: FB未完了またはFB正常完了
(8)	エラーコード	o_uErrId	ワード	0	発生したエラーコードを返します。
(9)	無線I/Fのビット情報格納デバイス	o_ulFBit	ワード	0	無線I/Fのビット情報を格納するデバイスを指定します。
(10)	無線I/Fのワード情報格納デバイス	o_ulFWord	ワード	0	無線I/Fのワード情報を格納するデバイスを指定します。

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2WM-GFBT
	対象ネットワークユニット	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニット
	対象CPU	MELSEC iQ-RシリーズCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	241ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行命令)がONの間、無線I/Fのビット情報(リモートバッファメモリ2BE3H～2BFFH)をo_ulFBit(無線I/Fのビット情報格納デバイス)に設定したデバイスを先頭に29点分のワードデータとして格納し、無線I/Fのワード情報(リモートバッファメモリ2E00H～3FFFH)をo_ulFWord(無線I/Fのワード情報格納デバイス)に設定したデバイスを先頭に4608点分のワードデータとして格納します。(□□CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニットユーザーズマニュアル(応用編))	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	随時実行型	
入出力信号の動き	<p>■正常終了の場合</p>  <p>■異常終了の場合</p> 	
制約事項、注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 同一ベース上にネットワークNo.の同じユニットが複数存在する場合は、CPUユニットはREMFR命令およびREMTO命令を最左端のユニットに対して要求します。必ず、マスタ局を最左端に装着してください。ローカル局を最左端とした場合は、FBがエラー終了することがあります。 インテックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しているため、割り込みプログラムを使用する場合はプログラム内でインデックスレジスタ(Z7～Z9)を使用しないでください。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0060H	ブリッジユニットの局番設定指定対象外。 局番が1～120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行します。
0000H～09A0H	ブリッジユニットまたは特小無線の異常。	【】CC-Link IEフィールドネットワーク-特小無線ブリッジユニット ユーザーズマニュアル(応用編)
D000H～DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークの異常。	

命令索引

M

M+NZ2WM_IEF_ChangeConfigMode_R.....	8
M+NZ2WM_IEF_ControlExchange_R.....	4
M+NZ2WM_IEF_DeleteConfig_R.....	14
M+NZ2WM_IEF_ReadIFData_R.....	28
M+NZ2WM_IEF_ReadParameter_R.....	24
M+NZ2WM_IEF_RegistConfig_R.....	11
M+NZ2WM_IEF_RequestLineTest_R.....	17
M+NZ2WM_IEF_SetParameter_R.....	20

MEMO

MEMO

MEMO

改訂履歴

*取扱説明書番号は、本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

改訂年月	*取扱説明書番号	改訂内容
2017年02月	BCN-P5999-0694-A	初版

本書によって、工業所有権その他の権利の実施に対する保証、または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については、当社は一切その責任を負うことができません。

©2017 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

仕様・機能に関するお問い合わせ

製品ごとにお問い合わせを受け付けております。

●電話技術相談窓口 受付時間※1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

	対象機種	電話番号
シーケンサ	MELSEC iQ-R/Q/L/QnA/Aシーケンサ一般	052-711-5111
	MELSEC iQ-F/FX/Fシーケンサ全般	052-725-2271※2
	ネットワークユニット/シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578
	アナログユニット/温調ユニット/温度入力ユニット/高速カウンタユニット	052-712-2579
	MELSOFTシーケンサプログラミングツール	052-711-0037
	MELSOFT統合エンジニアリング環境	052-712-2370※3
	MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	
	MELSECパソコンボード	
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	
	iQ Sensor Solution	
	MELSEC計装/iQ-R/Q二重化	052-712-2830※2※3
	MELSEC Safety	052-712-3079※2※3
	電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	052-719-4557※2※3
	センサ MELSENSOR	052-799-9495※3
	表示器	052-725-2271※2
サーボ/位置決めユニット/シンプルモーションユニット/ モーションコントローラ/センシングユニット/ 組込み型サーボシステムコントローラ	GOT-F900/DUシリーズ	052-712-2417
	GOT2000/1000/A900シリーズなど	052-712-6607
	MELSOFT GTシリーズ	
	MELSERVOシリーズ	
	位置決めユニット (MELSEC iQ-R/Q/L/Aシリーズ)	
	シンプルモーションユニット (MELSEC iQ-R/iQ-F/iQ/Lシリーズ)	
	モーションCPU (MELSEC iQ-R/Q/Aシリーズ)	
	センシングユニット (MR-MTシリーズ)	
	シンプルモーションボード	
	C言語コントローラインタフェースユニット (Q173SCCF)/ポジションボード	
	MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ/EMシリーズ	
	センサレスサーボ	052-722-2182
	インバータ	052-722-2182
	三相モータ	0536-25-0900※3※4
	ロボット	052-721-0100※3
電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ データ収集アナライザ	MELFAシリーズ	052-712-5430※3※5
	MELQIC iU1/iU2シリーズ	052-712-5440※3※5
	MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ	052-719-4170
	US-Nシリーズ	
	ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/気中遮断器 (ACB) など	052-719-4559
	電力量計/計器用変成器/指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556
	EcoServer/E-Energy/検針システム/エネルギー計測ユニット/ B/NETなど	052-719-4557※2※3
	FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ	052-799-9489※3※6
	低圧開閉器	052-719-4170
	低圧遮断器	
	電力管理用計器	052-719-4556
	省エネ支援機器	052-719-4557※2※3
	小容量UPS (5kVA以下)	052-799-9489※3※6
	電圧監視ユニット (QE8□シリーズ)	084-926-8340
	三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258※7
	低圧開閉器	0574-61-1955
	低圧遮断器	084-926-8280
	電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。
※1：春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2：金曜は17:00まで ※3：土曜・日曜・祝日を除く ※4：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30
※5：受付時間9:00～17:00 ※6：月曜～金曜の9:00～17:00

●FAX技術相談窓口 受付時間 月曜～金曜 9:00～16:00 (祝日・当社休日を除く)

対象機種	FAX番号
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット (QE8□シリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258※7
低圧開閉器	0574-61-1955
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
※7：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 (祝日・当社休日を除く)

三菱電機 FA

検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー
登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

本マニュアルは、輸出する場合、経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

BCN-P5999-0694-A(1702)KWIX

2017年02月作成

本マニュアルは、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。